Ｈ３０塩川小学校　校長室だより　30年6月14日(木)No.3

さわやか

素敵な子ども達です～所長訪問から～

具体物を使った直接体験で理解を深める

所長訪問での指導事項です。

○　なにより、子ども達がすばらしい。素敵です。それが塩川小学校のすばらしさを物語っています。

○　どの学年も、聞く姿勢や学ぶ姿勢が徹底していて、規律がよいです。学校の力で教育されています。

○　先生と子どもの人間関係がよい。先生方が、それぞれによさを活かして生き生きと授業をしていました。先生方の授業力、同僚生の高さを感じました。

○　ＰＴＡや保護者が、学校に信頼を寄せていると感じました。

塩川小学校としてうれしく思ったことは、「学校の力（校風・学校文化）で教育されている」という言葉でした。また、「わかりやすく明確な方針（子ども像）を立て、先生方が一丸となっている。学級のめあてが、学校目標からおりていて、それを子どもが理解していることがすばらしい。」という言葉もうれしく思いました。３つめの言葉が、全てを物語っています。

環境即教育～掲示教育～

教師の姿も重要な「環境」！

左の写真は、習字の作品を掲示したものです。止めや払いなど、学習のめあてになっている箇所に、◎が朱書きされています。

掲示する目的について考えてみましょう。

一つは、「教育のため」の掲示です。左下写真の習字で考えてみます。

作品に評価を入れることで、それをみて、子どもは自分の成長がわかり、自信ややる気を高めます。友達の作品のどこをみればよいかが分かるので、鑑賞教育にもなります。作品に朱を入れることで、掲示教育としての価値が生まれます。

他に、「お知らせ」のための掲示もあります。「潤い」を持たせるための掲示もあります。

「はい。」という返事。「ありがとうございます。」というお礼。本校の子ども達は、この二つの言語をよく口にします。「さわやか塩小」の雰囲気を醸し出す「言葉」となっています。

上の写真は、２階男子トイレのスリッパを写したものです。４足のスリッパが乱れています。乱れ方はみな同じです。なぜでしょう？

人は、汚い場所には平気でゴミを落とします。さらに汚くなります。人は、きれいな場所にはゴミを落としません。環境が、人の言動を決定づけるのです。よい環境は、よい人を育てます。

「聞く力」と「話す力」そして「規律」は、社会生活に必要な汎用的能力

「汎用」とは、広くいろいろな方面に用いることで、「万能」に近い言葉です。

タイトルにあげた三つは、学習場面や集団生活、社会生活の中で必要とされる力です。また、どんな活動においても用いられる力です。本校でも、力を入れて育成しようとしている力です。

規律を身に付ける上で留意するのは、個々に自律心を育てなければならないということ。一人残らず全員に身に付けなければならないということです。